

医療技術の評価・再評価について

平成22年1月27日
診療報酬調査専門組織・医療技術評価分科会
分科会長 吉田 英機

中医協基本問題小委員会において、昨年2月に診療報酬調査専門組織医療技術評価分科会において学会から提出される医療技術評価提案書に基づき、新規医療技術の評価及び既存医療技術の再評価を実施することとされたところである。今般、医療技術の評価・再評価について最終的な検討結果を取りまとめたことから、当分科会における評価結果を報告するものである。

1 医療技術の評価・再評価に係る実施方法

(1) 医療技術の適正な評価の観点から、診療報酬調査専門組織医療技術評価分科会において、学会等から提出される医療技術評価提案書に基づき、新規医療技術の評価及び既存医療技術の再評価を1次評価及び2次評価の2段階とし、保険診療に精通した医学、歯学、薬学、看護学等の有識者で構成される以下の6分野のワーキンググループを設置し評価を行った。具体的には、昨年3月から昨年6月にかけて、関係学会から提出のあった医療技術の評価・再評価に係る提案書を評価の対象とした。

WG 1：眼科、耳鼻咽喉科、歯科系、皮膚・皮下組織

WG 2：循環器系、救急、麻酔、放射線

WG 3：消化器、肝臓・胆道・膵臓、乳腺、呼吸器、在宅医療

WG 4：泌尿器・男性生殖器、産婦人科・女性生殖器、新生児・小児

WG 5：内分泌・栄養・代謝、血液・造血器・免疫臓器、調剤、看護、病理、その他

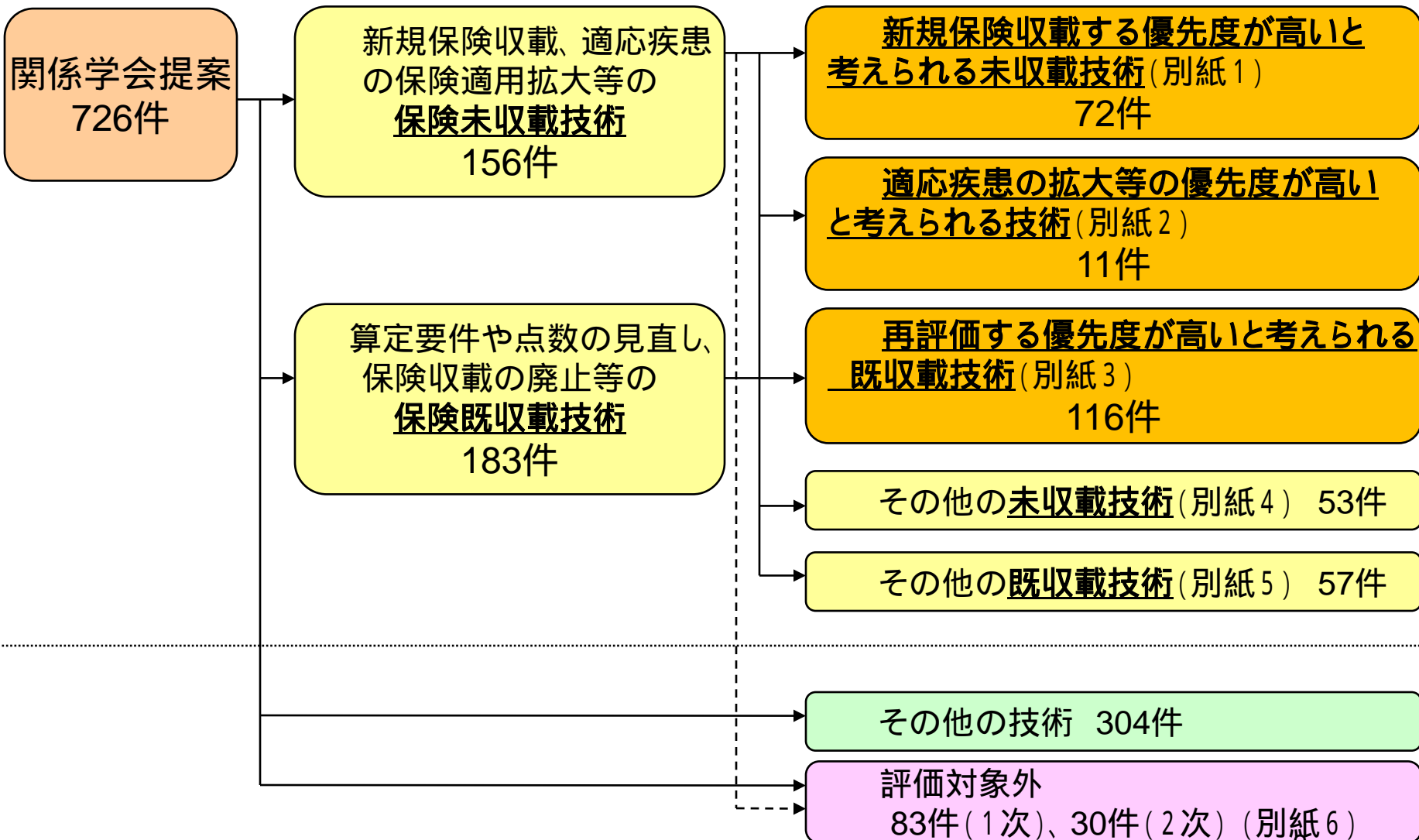
WG 6：精神、神経、筋骨格

(2) 1次評価において引き続き検討することが適当とされた医療技術について、医療技術評価分科会において分野横断的なより幅広い観点から2次評価を行った。

平成21年度 医療技術の評価・再評価について(概要)

【 1次評価 】

【 2次評価 】



2 医療技術の評価結果

【1次評価結果】

項目		件数
医療技術評価・再評価提案件数		726件 (重複分をカウントすると 896件)
1 次 評 価 結 果	① 1次評価において引き続き検討することが適当とされた技術	339件 新規技術 156件 既存技術 183件
	② その他の技術	304件
	③ 基本診療料及び指導管理等に係る提案書、個別の技術評価ではなく制度に対する提案書(注1)	45件
	④ 薬事法上の承認が得られていない医薬品及び医療機器等を用いる技術(注2)	19件
	⑤ 先進医療専門家会議において保険導入等について議論する技術(注3)	19件

注1：基本診療料、指導管理等については、医療技術評価分科会の評価の対象外。
 注2：薬事法上の承認が得られていないものは、保険診療において使用することができない。保険と併用する方法として高度医療(第3項先進医療)がある。
 注3：先進医療については、先進医療専門家会議において、実績報告等に基づき、別途保険導入について評価が行われるため、2次評価の対象とはしない。

【2次評価の結果】

項目	件数
① 新規保険収載する優先度が高いと考えられる未収載技術(別紙1)	72件
② 適応疾患の拡大等の優先度が高いと考えられる技術(別紙2)	11件
③ 再評価する優先度が高いと考えられる既収載技術(別紙3)	116件
④ その他の未収載技術(別紙4)	53件

⑤ その他の既記載技術（別紙５）	５７件
⑥ 薬事法上の承認が得られていない医薬品及び医療機器等を用いる技術等（別紙６）	２８件
⑦ 先進医療専門家会議において保険導入等について議論する技術（別紙６）	２件
合 計	３３９件

（※）再評価の中には、増点、減点、廃止、要件の見直しが含まれる。

【参考：平成２０年度改定】

項目	件数
① 保険適用する優先度が高いと考えられる新規技術	４２件
② その他の新規技術	６９件
③ 再評価する優先度が高いと考えられる既存技術	６２件
④ その他の既存技術	５５件
⑤ 先進医療専門家会議において保険導入等について議論する医療技術	５件
合 計	２３３件

個々の医療技術が保険適用されるまでの基本的な流れ

臨床研究

研究データの蓄積

通常、
保険診療との
併用が不可
(自由診療)

関係学会

学会内で合意形成
要望とりまとめ

中医協 調査専門組織 医療技術評価分科会

保険適用の是非について議論

ワーキンググループ委員
による1次評価

分科会委員による
2次評価

報告

中医協

個別技術の保険導入・点数設定について議論

診療報酬改定

保険診療

すべて
保険適用

新規保険収載する優先度が高いと考えられる未収載技術(案)

	技術名	申請団体	概要
1	先進画像加算:外傷全身CT	日本医学放射線学会	全身打撲時に、頭から骨盤までの途切れのない1回のCT撮影を放射線科医が読影するという外傷初療トリアージの評価
2	心臓カテーテル法による諸検査 冠動脈血流予備能(FFR)	日本インターベンション学会	虚血性心疾患の病変部を特定し、機能的な重症度を評価するため、心臓カテーテル法による諸検査と併せて実施した場合の加算の新設
3	軟性膀胱鏡を用いた膀胱鏡検査	日本Endourology・ESWL学会	軟性膀胱鏡による低侵襲での膀胱鏡検査の評価
4	腹腔鏡下性腺摘出術	日本Endourology・ESWL学会	性分化異常症の小児に対して腹腔鏡下で性腺の摘出を行う術式の新設(手術)
5	M000-2 放射性同位元素内用療法管理料 3 各種固形癌の骨転移部位の疼痛緩和に対するもの(追加) 4 B細胞性非ホジキンリンパ腫に対するもの(追加)	日本核医学会 日本医学放射線学会 日本血液学会 日本放射線腫瘍学会	固形がんの骨転移とB細胞性非ホジキンリンパ腫を放射性同位元素内用療法管理料の対象疾患として追加
6	網膜機能精密電気生理検査	日本眼科学会	黄斑機能の他覚的機能検査である多局所網膜電図の新設
7	前房水・硝子体採取検査	日本眼科学会	ぶどう膜炎等の診断を目的として前房水や硝子体を採取する技術の評価
8	硝子体内注入術	日本眼科手術学会	加齢黄斑変性症に対して硝子体内に抗VEGF薬を注入する際等の手技料の評価
9	光学的眼軸長測定	日本眼科手術学会	従来の接触型ではない、光干渉装置を用いた眼軸長測定法の評価
10	肝門部胆管癌切除術(1.血行再建あり 2.血行再建なし) 肝門部胆管癌切除術(肝拡大葉切除術に肝外胆管切除再建術を伴う)	日本肝胆膵外科学会 日本消化器外科学会	広範な肝切除及び胆管切除を伴う、肝門部胆管癌切除術の新設(手術)
11	脾中央切除術	日本肝胆膵外科学会	脾体部腫瘍に対して脾中央部のみを切除し脾尾部を残すことで、脾機能を温存する手術の新設(手術)
12	心臓弁膜症手術と大動脈瘤手術 大動脈弁+上行大動脈瘤切除	日本胸部外科学会 日本外科学会 日本心臓血管外科学会	心臓弁膜疾患と大動脈瘤を合併している患者に対して、心臓弁膜症手術と大動脈瘤手術を併施した場合の技術項目を新設(手術)
13	局所陰圧閉鎖処置 局所陰圧閉鎖療法	日本形成外科学会	感染・壊死等があり容易に閉鎖が不可能な複雑性創傷の患者に対して、その創部にフォームを埋め込みドレープで密封した後にチューブを介して陰圧維持装置と接続し、陰圧を持続的に維持する処置項目の新設
14	脾温存脾体尾部切除術	日本外科学会	脾体尾部病変に対して、脾臓を一括切除せず温存しながら脾体尾部を切除する術式の新設(手術)
15	下顎関節突起骨折観血手術(片側) 下顎関節突起骨折観血手術(両側)	日本口腔科学会 日本口腔外科学会	下顎骨骨折観血の手術の中でも解剖学的に難易度の高い下顎関節突起骨折に対する手術の評価(手術)
16	気管支内視鏡的放射線治療用マーカー留置術	日本呼吸器内視鏡学会	肺癌の患者に対して、体外照射及び定位放射線治療を施行する際に、局所制御率の向上や正常組織の損傷の低減などの安全性の向上のために、気管支内視鏡を介してに病巣近傍に放射線治療用のマーカーを留置する技術の新設
17	ヒト・パピローマウイルス(HPV)DNA検査	日本産科婦人科学会	子宮頸部細胞診でのASC-USを対象とした、高リスク型ヒト・パピローマウイルス(HPV)DNA検査の新設
18	内視鏡下嚥下機能検査	日本耳鼻咽喉科学会	摂食・嚥下機能障害者等に対して、喉頭内視鏡下に着色水を嚥下させ、嚥下機能を評価するための検査項目の新設

	技術名	申請団体	概要
19	副咽頭間隙腫瘍摘出術	日本耳鼻咽喉科学会	解剖学的に複雑な顔面深部に位置する副咽頭間隙腫瘍を外科的に切除する技術項目の新設(手術)
20	嚥下障害手術:輪状咽頭筋切断術、喉頭挙上術、喉頭気管分離術、喉頭全摘術	日本耳鼻咽喉科学会	嚥下機能障害改善が困難である患者に対して、誤嚥性肺炎を防ぐために行われる術式の新設(手術)
21	聴性定常反応(ASSR)	日本耳鼻咽喉科学会	従来は判定不能であった低音域も含めて周波数毎に判定可能な、刺激音を聞かせて脳波を記録する他覚的聴力検査法の評価
22	前置胎盤帝王切開術	日本周産期・新生児医学会	帝王切開術のうち、前置胎盤に対する手術の新設(手術)
23	トレッドミルによる負荷心肺機能検査またはサイクルエルゴメータによる心肺機能検査における連続呼気ガス分析加算	日本循環器学会 日本リハビリテーション医学会 日本心臓リハビリテーション学会	心・肺疾患の重症度や心不全の予後の判定等を行うため、運動負荷中に呼気ガスを連続的に分析し、最高酸素摂取量や嫌気性代謝域値等を測定する検査項目の新設
24	NBI 拡大内視鏡	日本消化器内視鏡学会	食道癌、胃癌、大腸癌等に係る微少癌の発見、腫瘍・非腫瘍の鑑別のため、狭帯域の照明光で観察する狭帯域光法(NBI)を用いた画像強調観察を併用した拡大内視鏡検査の加算の新設
25	超音波内視鏡下穿刺吸引生検法(EUS-FNA)	日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本膵臓学会	消化管外病変(膵腫瘍、腹腔・縦隔種大リンパ節、縦隔腫瘍等)及び消化管粘膜下腫瘍の患者に対して、コンベックス型超音波内視鏡を用いて、経消化管的穿刺による病理診断を行う検査項目の新設
26	喘息運動負荷試験	日本小児アレルギー学会 日本アレルギー学会	気管支喘息の患者に対して、気道の反応性とその程度を判定するため、スパイログラフィー、運動負荷機器を用いて、運動負荷前後の換気機能の変化を測定する検査項目の新設
27	G-CSF製剤自己注射指導管理料	日本小児がん学会 日本小児血液学会	重症の好中球減少症の患者に対して、在宅自己注射指導管理料の対象注射薬にG-CSF製剤を追加
28	膀胱外反症手術	日本小児外科学会	膀胱外反症に対して外反を閉鎖し、同時に尿道や外陰部形成を行う術式の新設(手術)
29	経皮的動脈形成術 経皮的肺動脈形成術	日本小児循環器学会	大動脈狭窄、肺動脈狭窄に対して、経皮的にカテーテルを用いて狭窄部を拡大する術式の新設(手術)
30	先天性心疾患の術後におけるその他の胸部血管に対する経皮的血管形成術	日本小児循環器学会	先天性心疾患の術後に生じることがある胸部血管狭窄に対して、経皮的にカテーテルを用いて血管形成を行う術式の新設(手術)
31	在宅小児低血糖症患者指導管理料、血糖自己測定器加算	日本小児内分泌学会	12歳未満の小児低血糖症の患者に対して、適切な在宅療養指導管理を行ったときの評価項目の新設
32	食道狭窄バルーン拡張術	日本食道学会	食道狭窄に対して、拡張用バルーンを用い食道の拡張を行う術式の新設(手術)
33	食道空置バイパス作成術	日本食道学会 日本外科学会	食道狭窄症等に対し、胃・空腸・大腸を利用して胸部食道を切除せずバイパスを行う術式の評価(手術)
34	認知療法、認知行動療法	日本女性心身医学会	気分障害等の患者に対して、認知の修正を通して精神症状の緩和を図る認知療法、認知行動療法の新設
35	心筋コントラストエコー法 心筋コントラストエコー法(造影超音波心筋灌流測定法)	日本心エコー図学会 日本超音波医学会	心筋虚血の診断のため、心エコー図法と超音波造影法を併用して行う検査項目の新設
36	肺動脈血栓内膜摘除術	日本心臓血管外科学会	肺高血圧症を伴った慢性肺血栓塞栓症の患者に対して、超低体温間歇的循環停止下に肺動脈を切開して、器質化した血栓を摘除する技術項目の新設(手術)
37	術中経食道的超音波連続的監視加算	日本心臓血管麻酔学会	心弁膜症疾患、虚血性心疾患等の患者に対して、手術中の心臓機能を経食道的超音波検査により連続的に監視する技術に関する加算の新設
38	肩腱板断裂手術(複雑)(関節鏡下を含む)	日本整形外科学会	肩腱板断裂(大断裂、広範囲断裂)の患者に対して、直視下又は鏡視下に癒着した腱板断端を十分に剥離して引き出し、大結節部に達する技術項目の新設(手術)

	技術名	申請団体	概要
39	椎間板摘出術における複数椎間加算	日本整形外科学会	腰椎椎間板ヘルニアの患者に対して、複数椎間の後方摘出術を実施した場合の加算の新設(手術)
40	嚥下造影検査	日本摂食・嚥下リハビリテーション学会 日本リハビリテーション医学会	造影剤を混入させた飲食物を透視下にて嚥下させることで、誤嚥がおきにくい状況等の嚥下機能を評価をする検査の新設
41	同種末梢血幹細胞採取術(新設)および同種末梢血幹細胞移植術(増額)	日本造血細胞移植学会	現在は骨髄移植(同種末梢血幹細胞移植)で包括評価されている同種末梢血幹細胞採取術の区分の分離と、骨髄移植(同種末梢血幹細胞移植)の再評価
42	経肛門的内視鏡下手術(直腸腫瘍)	日本大腸肛門病学会	直腸腫瘍に対して、直腸鏡を用いて経肛門的に低侵襲で行う直腸腫瘍局所切除術の新設(手術)
43	指伸筋腱脱臼靱血整復術	日本手の外科学会	先天性、特発性、外傷性及び関節炎に合併した指伸筋腱脱臼の患者に対して、靱血的に周囲組織との癒着を剥離し、整復し、その後に腱の整復位を保つ方法を付加する技術項目の新設(手術)
44	手術の通則14の「ただし」以下に神経移植を追加する	日本手の外科学会	神経移植術を他の手術と併施した場合の再評価(手術)
45	手術の通則14の留意事項(4)指に係る同一手術野の範囲アのbの次にcを新設する	日本手の外科学会	同一指内の複数の骨、複数の関節の手術を行った場合、骨毎、関節毎の算定が可能となるよう再評価(手術)
46	長期脳波ビデオ同時記録	日本てんかん学会	難治性てんかんの患者に対して、てんかん外科手術の術前評価などのてんかんの診断を行うため、長時間に脳波とビデオを同期させて行う検査項目の新設
47	カフ付き血液透析カテーテル挿入術	日本透析医学会 日本アフェレシス学会 日本腎臓学会	慢性腎不全に対する維持血液透析で用いるカフ付き血液透析カテーテルの挿入に対する手技料の評価
48	シングルルーメン+ダブルルーメン以上(一般型、特殊型)挿入術	日本透析医学会 日本アフェレシス学会 日本腎臓学会	急性腎不全等の急性血液浄化法を要する際に、中心静脈にシングルルーメン及びダブルルーメン以上(一般型、特殊型)のカテーテル挿入に対する手技料の評価
49	バイパス術を併用した脳動脈瘤手術	日本脳神経外科学会	クリッピング術が困難な大型の脳動脈瘤に対して、術中に親血管より末梢側の血流を確保するため、バイパス術を併用して行う脳動脈手術の新設(手術)
50	膀胱脱(ヘルニア)メッシュ修復術	日本排尿機能学会	膀胱脱(ヘルニア)に対して、経腔的にソフトタイプメッシュを成形して閉鎖孔に固定する術式の新設(手術)
51	排泄腔外反症に対する尿排泄路形成(重症例と軽症例)	日本泌尿器科学会	排泄腔外反症に対する乳幼児の尿排泄路形成術の新設(手術)
52	内服(点滴)誘発試験	日本皮膚科学会	薬疹を診断するため、被擬薬を内服、点滴静脈注射にて投与し、皮疹の再現の有無を調べる検査項目の新設
53	バルーンカテーテルによる大動脈遮断	日本腹部救急医学会	ショックを伴う腹腔内大量出血の患者に対して、大動脈からバルーンカテーテルを挿入し、胸部下行大動脈を一時的に遮断する技術項目の新設(手術)
54	重度腹部外傷例に対するダメージ・コントロール手術	日本腹部救急医学会	ショックを伴う重度腹部外傷の患者に対して、一期的な止血を中心とした手術を行った場合の技術項目の新設(手術)
55	経皮的腹腔膿瘍ドレナージ術	日本腹部救急医学会	腹部エコー等の画像検査下に、開腹せずに経皮的に腹腔内膿瘍を穿刺し排膿する術式の新設(手術)
56	傍大動脈リンパ節郭清術	日本婦人科腫瘍学会	リンパ節群郭清術として傍大動脈リンパ節の新設(手術)
57	経皮的カテーテル心筋焼却術(付加手技を伴う場合) 付加手技を要する経皮的カテーテル心筋焼灼術	日本不整脈学会	心房細動、器質的心疾患に伴う心室頻拍の患者に対して、心臓内の不整脈源を焼却する技術のうち、心房中隔穿刺及び新外膜アプローチを要する技術項目の新設(手術)
58	経皮的カテーテル心筋焼灼術(小児加算)	日本不整脈学会	経皮的カテーテル心筋焼灼術に対する小児加算の新設(手術)

	技術名	申請団体	概要
59	画像誘導放射線治療(IGRT)	日本放射線腫瘍学会	医用画像を利用することにより放射線治療における照射位置精度を上げ、照射の確実性と安全性を高める技術の新設
60	新生児麻酔加算の増額	日本麻酔科学会	新生児に対して行う麻酔加算の再評価
61	一酸化窒素吸入療法	日本未熟児新生児学会	現在でも死亡率の高い肺高血圧を伴う低酸素性呼吸不全を有する新生児に対して、一酸化窒素を吸入させることで救命を行う技術の新設
62	「高次脳機能障害」に対する新規検査法の実施	日本リハビリテーション医学会	脳血管障害等の脳損傷による高次機能障害の患者に対して、その適切な評価を行うための標準化された検査項目の新設
63	排痰補助装置	日本リハビリテーション医学会 日本神経学会 日本神経治療学会	神経筋疾患等の患者であって、自分で十分に咳が出来ないものに対して、在宅において喀痰補助装置を使用する場合の加算の新設
64	感染性膵壊死に対する膵壊死部分切除術	日本臨床外科学会	重症急性膵炎に合併する膵壊死に対し、壊死及び周囲組織のみを部分切除する術式の評価(手術)
65	人工肛門閉鎖術3、ハルトマン手術後の人工肛門閉鎖術	日本臨床外科学会	自動縫合器加算対象手術として人工肛門閉鎖術(腸管切除を伴うもの)の追加(手術)
66	IgGサブクラス 血清IgG4測定	日本臨床検査医学会 日本膵臓学会 日本消化器病学会	自己免疫性膵炎と膵癌の鑑別のため、IgG4を測定する検査項目の新設
67	細胞診断料	日本臨床細胞学会 日本病理学会 日本婦人科腫瘍学会	穿刺吸引細胞診、術中迅速細胞診、髄液細胞診等に対する診断料の新設
68	術中迅速細胞診標本作製	日本臨床細胞学会 日本産科婦人科学会 日本病理学会 日本婦人科腫瘍学会	術中における腹水や洗浄液等の悪性細胞の有無を目的とした迅速細胞診の評価(新設)
69	がん薬物療法管理加算(投薬)	日本臨床腫瘍学会	内服の抗悪性腫瘍剤の副作用を適切に管理しつつ適正量として薬剤投与するための加算の新設
70	光線力学的治療	日本レーザー医学会	悪性気管支腫瘍等の患者に対して、全身麻酔下に硬性鏡下又は気管支鏡下に光線力学的治療の技術項目を新設(手術)
71	レーザー応用による歯石除去	日本レーザー歯学会	エルビウム:YAGレーザーを用いた歯周ポケット内露出根面の歯肉縁下歯石の除去に対する技術項目の新設
72	舌接触補助床	日本老年歯科医学会	接触機能等の維持・改善を図るための訓練用装置に対する技術項目の新設

適応疾患の拡大等の優先度が高いと考えられる技術(案)

	技術名	申請団体	概要
1	生体部分肺移植術	日本移植学会	生体部分肺移植術の適応疾患拡大(手術)
2	ポジトロン断層撮影及びポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	日本核医学会	ポジトロン断層撮影及びポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影の悪性腫瘍の保険適応疾患の拡大
3	角膜内皮細胞顕微鏡検査(適応の拡大)	日本眼科医会	角膜内皮細胞顕微鏡検査の適応疾患拡大
4	血中HCV-RNA	日本肝臓学会	C型急性肝炎早期診断のための血中HCV-RNA検査の評価
5	厚生労働大臣が定める疾患に起因した咬合異常に係る適応症の拡大	日本矯正歯科学会	先天性疾患に起因する咬合異常に対する歯科矯正治療の適応症の拡大
6	ベッセルシーリングシステムの加算 開腹手術におけるLCSおよびベッセルシーリングシステムの使用 超音波凝固切開装置等の適応拡大 超音波凝固切開装置等加算 ハイポ-ラー型電気凝固切開装置の食道手術での使用に対する加算	日本外科学会 日本消化器外科学会 日本臨床外科学会 日本呼吸器外科学会 日本食道学会	超音波凝固切開等装置加算対象手術の適応拡大(手術)
7	コンパートメント症候群、広範囲挫傷等を伴う末梢循環不全	日本高気圧環境・潜水医学会	コンパートメント症候群等の重度軟部外傷の患者に対する高気圧酸素療法の適用の拡大
8	壊死性筋膜炎等の重症感染症に対する高気圧酸素治療	日本高気圧環境・潜水医学会	壊死性筋膜炎等の重症感染症患者に対する高気圧酸素治療の適応の拡大
9	神経ブロック(ボツリヌス毒素使用)	日本小児神経学会 日本リハビリテーション医学会	小児脳性麻痺患者の下肢痙縮による尖足に対する、ボツリヌス毒素を用いた神経ブロックの適用の拡大
10	創外固定器加算の適応拡大(骨盤骨折)	日本整形外科学会	創外固定器加算の適応に骨盤骨折を追加(手術)
11	神経モニタリングの使用加算	日本臨床神経生理学会	脳脊髄腫瘍、脳脊髄血管疾患等の患者に対して、正確な手術の実施及び術中の安全性の確保のため、電気生理的な手法を用いて神経モニタリングを行う場合の加算の新設(手術)

再評価する優先度が高いと考えられる既記載技術(案)

	技術名	申請団体	概要
1	中心静脈栄養用埋込型カテーテル設置 1.開腹して設置した場合	日本IVR学会	中心静脈栄養用埋込型カテーテル設置(1.開腹して設置した場合)の削除
2	血球成分除去療法	日本アフェシス学会 日本透析医学会 日本消化管学会	活動期潰瘍性大腸炎に対する血球成分除去療法のエビデンスに基づいた算定要件の変更
3	MRI 撮影料:2回目以降の撮影料に対する減額	日本医学放射線学会 日本磁気共鳴医学会	磁気共鳴コンピューター断層撮影(MRI撮影)において、2回目以降の撮影点数の増点
4	エックス線乳房撮影	日本医学放射線学会	エックス線による乳房撮影の増点
5	単純MRI撮影 イ. 1.5テスラ以上	日本医学放射線学会 日本磁気共鳴医学会	磁気共鳴コンピューター断層撮影(MRI撮影)において、1.5テスラ以上の機器による場合の増点
6	ポジトロン断層撮影及びポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	日本医学放射線学会 日本核医学会	施設共同利用率の施設基準変更
7	血管塞栓術	日本医学放射線学会	血管塞栓術の増点(手術)
8	噴門側胃切除術	日本胃癌学会	自動吻合器加算対象手術として噴門側胃切除術の追加(手術)
9	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ、粘膜切除術 2早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術	日本胃癌学会	胃癌に対して施行される内視鏡的早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術の増点(手術)
10	移植用部分肝採取術(生体)	日本移植学会 日本肝臓学会	移植用部分肝採取術の増点(手術)
11	生体部分肝移植術(レシピエント)	日本移植学会 日本肝臓学会	生体部分肝移植術の増点(手術)
12	生体腎移植術	日本移植学会	生体腎移植術の増点(手術)
13	経尿道的尿管瘤切除術	日本Endourology・ESWL学会	尿管瘤に対して経尿道的に施行する尿管瘤切除術の新設(手術)
14	角膜移植	日本眼科学会	角膜移植術の増点(手術)
15	眼筋機能精密検査及び輻輳検査	日本眼科学会	検査名称の改正
16	脾頭部腫瘍切除術	日本肝胆膵外科学会	脾頭部腫瘍切除術の増点(手術)
17	生体部分肺移植術	日本胸部外科学会	生体部分肺移植術の増点(手術)
18	顎・口蓋裂形成手術 4. 両側	日本形成外科学会	両側性顎口蓋裂に対して、両側の裂を同時に閉鎖形成術を行った場合の増点(手術)

	技術名	申請団体	概要
19	口唇・舌小帯形成手術	日本形成外科学会	口唇・舌小帯形成手術において、口唇小帯又は舌小帯を切開して縫合した場合に、当該手術の増点(手術)
20	分層植皮術	日本形成外科学会	分層植皮術の増点(手術)
21	ステントグラフト内挿入術(胸部大動脈)	日本外科学会	ステントグラフト内挿入術(胸部大動脈)に対する増点(手術)
22	ステントグラフト内挿入術(腹部大動脈)	日本外科学会	ステントグラフト内挿入術(腹部大動脈)に対する増点(手術)
23	人工心肺時の「逆行性冠灌流」の加算	日本外科学会 日本心臓血管外科学会	心停止を伴う手術を施行する際の心筋保護のため、冠静脈洞から逆行性に冠灌流を行う場合の加算の評価(手術)
24	肝切除手術 1. 部分切除 肝切除手術 2. 区域切除 肝切除術2. 区域・亜区域切除 肝切除手術 3. 葉切除 肝切除手術 4. 拡大葉切除 肝切除手術 5. 拡大葉切除血行再建	日本外科学会 日本肝胆膵外科学会	肝切除術の増点(手術)
25	胆管悪性腫瘍手術	日本外科学会	胆管悪性腫瘍手術の増点(手術)
26	胆嚢悪性腫瘍手術	日本外科学会	胆嚢悪性腫瘍手術の増点(手術)
27	食道悪性腫瘍手術 2. 胸部食道の場合(食道癌2期分割手術) 食道切除後2次的再建術 消化管利用によるもの 食道切除後2次的再建術 2. 消化管利用	日本外科学会 日本食道学会	食道癌の手術を2期的に切除と再建を分けて行う場合の、切除手術である食道悪性腫瘍手術と食道切除後2次的再建術の増点(手術)
28	食道悪性腫瘍手術(消化管再建術を併置) (血管吻合術を伴う)	日本外科学会	食道悪性腫瘍手術(消化管再建手術を併置するもの)における有茎腸管移植加算の増点(手術)
29	骨髄穿刺・骨髄生検	日本血液学会	骨髄穿刺・骨髄生検の増点
30	自家末梢血幹細胞移植	日本血液学会	骨髄移植(自家末梢血幹細胞移植)の増点と、採取料と移植料の区分作成
31	排泄物、滲出物又は分泌物の細菌顕微鏡検査	日本結核病学会	排泄物、滲出物又は分泌物の細菌顕微鏡検査において、抗酸菌について、集菌塗抹法を実施した場合の加算の評価
32	抗酸菌分離培養検査1	日本結核病学会	抗酸菌分離培養検査1の増点
33	抗酸菌薬剤感受性検査	日本結核病学会	抗酸菌薬剤感受性検査について、3剤以下と4剤以上で点数が異なるが、これを4剤以上に一本化し、増点
34	「同一手術野、同一病巣」手術評価の再考	日本口腔外科学会	同一手術野または同一病巣における複数手術に係る費用の特例対象となる歯科の手術の追加(手術)
35	肺切除術 4. 複合切除(1肺葉を超えるもの)	日本呼吸器外科学会	肺切除術(複合切除)の増点(手術)
36	気管支ファイバースコープ	日本呼吸器内視鏡学会	気管支ファイバースコープの増点
37	骨塩定量検査	日本骨粗鬆症学会	骨塩定量検査(DEXA法)における、大腿骨撮影の評価
38	妊娠子宮摘出術(ポロー手術)	日本産科婦人科学会	妊娠子宮摘出術(ポロー手術)の増点(手術)

	技術名	申請団体	概要
39	流産手術 2. 妊娠11週を超え妊娠21週まで	日本産科婦人科学会	流産手術(妊娠11週を超え妊娠21週までの場合)の増点(手術)
40	子宮付属器腫瘍摘出術(腹腔鏡によるもの)	日本産科婦人科内視鏡学会	子宮付属器腫瘍摘出術(腹腔鏡によるもの)の増点(手術)
41	歯周組織再生誘導手術(GTR術)	日本歯周病学会	歯周組織再生誘導手術(GTR術)に対する増点(手術)
42	歯周病安定期治療(SPT)	日本歯周病学会	歯周病安定期治療の経年的に点数が低減する算定要件の見直し等
43	静脈性嗅覚検査	日本耳鼻咽喉科学会	静脈性嗅覚検査の増点
44	経耳的聴神経腫瘍摘出術	日本耳鼻咽喉科学会	経耳的聴神経腫瘍摘出術の増点(手術)
45	緊急帝王切開	日本周産期・新生児医学会	帝王切開術(緊急帝王切開)の増点(手術)
46	選択帝王切開	日本周産期・新生児医学会	帝王切開術(選択帝王切開)の増点(手術)
47	心大血管リハビリテーション料に関わる施設認定基準の見直し	日本循環器学会 日本心臓リハビリテーション学会 日本リハビリテーション医学会	専従の従事者について、当該リハビリテーションを行っていない時間帯については他の疾患別リハビリテーションの実施可能とするよう要件緩和
48	心大血管疾患リハビリテーション料に関わる施設認定基準の見直し	日本循環器学会 日本心臓リハビリテーション学会 日本リハビリテーション医学会	心大血管疾患リハビリテーション料の施設基準にある個室要件と医師配置要件の緩和
49	心筋採取	日本循環器学会	心臓カテーテル法による諸検査の心筋採取法の増点
50	ヘリコバクター・ピロリ感染の診断	日本消化管学会 日本ヘリコバクター学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器病学会	ヘリコバクター・ピロリ感染の診断において、複数検査同時実施可能とするよう保険適応の拡大
51	経肛門的結腸嚢肛門吻合による超低位前方切除術	日本消化器外科学会	下部直腸癌に対して施行される超低位前方切除術の増点(手術)
52	骨盤内臓全摘術	日本消化器外科学会	直腸癌の膀胱・前立腺浸潤等に対して施行される骨盤内臓全摘術の増点(手術)
53	腹腔鏡下胃切除術の縫合器加算	日本消化器外科学会	腹腔鏡下胃切除術における自動縫合器加算対象個数の増加(手術)
54	手術通則8の改正	日本小児外科学会	3歳以上6歳未満の小児に対して行った手術の加算(手術)
55	腸重積整復術 1. 非観血的なもの	日本小児外科学会	腸重積症整復術(非観血的なもの)の増点(手術)
56	6歳未満の乳幼児に対する加算の適用	日本小児歯科学会	5歳以上6歳未満の乳幼児に対する乳幼児加算の適用
57	神経学的検査	日本小児神経学会	神経学的検査の施設基準について、その施設要件に小児神経科又は神経小児科を標榜している保険医療機関を追加し、医師の配置要件に同科の医師を追加するなどの算定要件の見直し
58	負荷試験(成長ホルモン(GH))	日本小児内分泌学会	内分泌負荷試験である下垂体前葉負荷試験(成長ホルモン)の回数制限の変更

	技術名	申請団体	概要
59	デブリードマン	日本褥瘡学会	デブリードマンの分類区分の変更と増点(手術)
60	食道悪性腫瘍手術 自動縫合器加算	日本食道学会	食道悪性腫瘍手術、食道切除後2次的再建術、食道切除再建術における自動縫合器加算対象個数の増加(手術)
61	在宅人工呼吸器加算	日本神経学会 日本神経治療学会	在宅陽圧式人工呼吸器加算、在宅人工呼吸器加算、在宅陰圧式人工呼吸器加算に対する増点
62	在宅陰陽圧式人工呼吸器加算	日本神経治療学会 日本神経学会	在宅陰圧式人工呼吸器加算に対する増点
63	心身医学療法(入院)	日本心身医学会 日本心療内科学会	入院中の患者に対して行う心身医学療法の増点
64	体外式脊椎固定術	日本脊椎脊髄病学会	頸骨脱臼骨折に対し、体外式脊椎固定術により整備と安定化を得た後に、観血的脊椎固定術を行った場合の併算定を可能とする。(手術)
65	結腸切除術(全切除、亜全切除又は悪性腫瘍) (開腹)	日本大腸肛門病学会	結腸切除術(全切除、亜全切除又は悪性腫瘍)の増点(手術)
66	四段階注射法	日本大腸肛門病学会	内痔核に対して施行される四段階注射法の増点(手術)
67	痔核手術(脱肛を含む)PPH	日本大腸肛門病学会	内痔核・脱肛に対して施行される痔核手術であるPPHの増点(手術)
68	脳波検査	日本てんかん学会	脳波検査に対する増点
69	連続携帯式腹膜灌流	日本透析医学会 日本腎臓学会	連続携帯式腹膜灌流の導入期加算の増点
70	腹腔鏡下虫垂切除術	日本内視鏡外科学会	急性虫垂炎に対する腹腔鏡下虫垂切除術の増点(手術)
71	乳腺悪性腫瘍手術の増額	日本乳癌学会	乳腺悪性腫瘍手術の増点(手術)
72	同種皮膚移植術	日本熱傷学会	移植面積による区分の細分化(手術)
73	脳血管内手術(複数動脈瘤)	日本脳神経外科学会	複数の脳動脈瘤に対して、同時に塞栓術を実施した場合の脳血管内手術の増点(手術)
74	内頸動脈狭窄症に対する頸動脈血栓内膜除去術	日本脳神経外科学会	内頸動脈狭窄症に対する頸動脈血栓内膜除去術の増点(手術)
75	経鼻的下垂体腫瘍摘出術	日本脳神経外科学会	経鼻的下垂体腫瘍摘出術の増点(手術)
76	干渉低周波による膀胱等刺激法	日本泌尿器科学会	排尿障害の治療としての干渉低周波による膀胱等刺激法の増点
77	残尿測定(導尿によるものと、超音波検査による)	日本泌尿器科学会	検査方法の違い(導尿と超音波機器)による残尿測定検査の区分作成
78	リンパ球幼若化検査	日本皮膚科学会	リンパ球幼若化検査の増点
79	病理診断料	日本病理学会	病理診断料について、病理診断を専ら担当する常勤の医師が勤務する診療所において算定できるよう算定要件を見直す

	技術名	申請団体	概要
80	免疫染色病理組織標本作製	日本病理学会	多数の免疫染色を行う場合の評価
81	ダブルバルーン内視鏡による小腸内視鏡検査法	日本腹部救急医学会	ダブルバルーン内視鏡による小腸内視鏡検査法の増点
82	脾縫合術(部分切除を含む)	日本腹部救急医学会	脾縫合術(部分切除を含む)の増点(手術)
83	子宮悪性腫瘍手術	日本婦人科腫瘍学会	子宮悪性腫瘍手術の増点(手術)
84	子宮付属器悪性腫瘍手術	日本婦人科腫瘍学会	子宮付属器悪性腫瘍手術の増点(手術)
85	ペースメーカー移植術 ペースメーカー移植術 2. 経静脈電極の場合	日本不整脈学会	ペースメーカーを植え込み術に対する増点(手術)
86	ペースメーカー電池交換術	日本不整脈学会	ペースメーカー電池交換術に対する増点(手術)
87	経皮的カテーテル心筋焼灼術	日本不整脈学会	経皮的カテーテル心筋焼灼術に対する増点(手術)
88	埋込型除細動器(ICD)移植術 埋込型除細動器移植術	日本不整脈学会	埋込型除細動器(ICD)移植術に対する増点(手術)
89	埋込型除細動器(ICD)交換術 埋込型除細動器交換術	日本不整脈学会	埋込型除細動器(ICD)の交換術に対する増点(手術)
90	両室ペーシング機能付き植込み型除細動器移植術	日本不整脈学会	両室ペーシング機能付き植込み型除細動器移植術に対する増点(手術)
91	高エネルギー放射線治療	日本放射線腫瘍学会	体外照射(高エネルギー放射線治療)の増点
92	密封小線源治療(旧型コバルト・新型コバルト)	日本放射線腫瘍学会	密封小線源治療のうち、旧型コバルト装置を用いた場合の点数の減点
93	コバルト60遠隔大量照射	日本放射線腫瘍学会	コバルト60遠隔大量照射の減点
94	全身照射	日本放射線腫瘍学会	骨髄移植を目的として行われる全身照射の増点
95	放射性同位元素内用療法管理料 放射性同位元素内用療法管理料 1 甲状腺癌に対するもの 2 甲状腺機能亢進症に対するもの	日本放射線腫瘍学会 日本核医学会	放射性同位元素内用療法管理料の増点
96	密封小線源治療	日本放射線腫瘍学会	密封小線源治療の増点
97	重度褥瘡患者管理の評価(重症者管理加算の対象に追加)	訪問看護財団	重症者管理加算の対象者に真皮を越える褥瘡の状態にある者を追加
98	テンポラリークラウン	日本補綴歯科学会	前装鋳造冠またはジャケット冠を装着する歯に対するテンポラリークラウンの算定対象時期の見直し
99	リテイナー	日本補綴歯科学会	ブリッジの製作過程におけるリテイナーの算定対象時期の見直し
100	外来化学療法加算	日本薬学会	外来化学療法加算の増点

	技術名	申請団体	概要
101	無菌製剤処理料1	日本薬学会	無菌製剤処理料の増点
102	筋電図検査 2 誘発筋電図	日本リハビリテーション医学会 日本臨床神経生理学会	筋電図検査(誘発筋電図)について、「一連の検査につき」の条件を、現行の点数から減点して「一神経につき」に変更する算定要件の見直し
103	脳脊髄用埋め込み型輸液ポンプ薬剤再充填術	日本リハビリテーション医学会	脳脊髄用埋め込み型輸液ポンプ薬剤再充填術の増点(手術)
104	乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術	日本臨床外科学会	乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術の増点(手術)
105	骨髄像	日本臨床検査医学会	骨髄像検査の増点
106	生理検査に係る乳幼児加算	日本臨床検査医学会	生体検査料に係る乳幼児加算(6歳未満)への適応の拡大
107	結核菌特異蛋白刺激性遊離インターフェロン 測定	日本臨床検査医学会 日本結核病学会	結核菌特異蛋白刺激性遊離インターフェロン 測定の増点
108	微生物学的検査	日本臨床検査医学会	細菌顕微鏡検査等の微生物学的検査の増点
109	削除項目の提案	日本臨床検査医学会	現在では有用性が低下している、キシローゼ試験、便ウロビリノーゲン等の保険収載の廃止
110	外来迅速検体検査加算	日本臨床検査医学会	外来迅速検体検査加算の増点
111	プロトロンビン時間、トロンボテスト	日本臨床検査専門医会	出血性疾患の診断、経口抗凝固薬のモニタリング等に用いられ、臨床的意義は同等であるプロトロンビン時間及びトロンボテストについて、国際的に標準化されているプロトロンビン時間の増点、及びトロンボテストの減点
112	遺伝病的検査	日本臨床検査専門医会	遺伝病的検査の増点
113	血液採取	日本臨床検査専門医会	血液採取の増点
114	血液細胞核酸増幅同定検査	日本臨床検査専門医会	造血器腫瘍に特異的な遺伝子異常を解析するための実施する血液細胞核酸増幅同定検査について、現行の6ヶ月に1回の算定要件を緩和
115	染色体検査	日本臨床検査専門医会	染色体検査の増点
116	往診料	日本臨床内科医会	往診料に対する増点(中医協で別途審議)

その他の未収載技術(案)

	技術名	申請団体
1	有床義歯機能検査	日本顎口腔機能学会
2	ロービジョン指導管理料およびロービジョン訓練	日本眼科学会
3	眼圧日内変動検査	日本眼科学会
4	緑内障術後管理加算	日本眼科医会
5	涙管チューブ挿入術(涙道内視鏡併施)	日本眼科医会
6	遷延性意識障害者の生活行動回復のための看護	看護研究学会
7	顔面多発骨折変形治癒矯正術	日本形成外科学会
8	ICGによる赤外線蛍光リンパ管造影	日本形成外科学会
9	在宅患者におけるう蝕へのフッ化物応用処置	日本口腔衛生学会
10	家庭血圧の測定指導と測定値の評価	日本高血圧学会 日本循環器学会
11	残存肺切除術	日本呼吸器外科学会
12	インプラント周囲骨折に対する観血的手術	日本骨折治療学会
13	関節鏡下関節内骨折観血的手術	日本骨折治療学会
14	腹腔鏡下子宮筋腫核出術と子宮付属器癒着剥離術の複数手術の特例拡大	日本産科婦人科内視鏡学会
15	腹腔鏡下子宮内膜症病巣除去術と子宮付属器癒着剥離術の複数手術特例拡大	日本産科婦人科内視鏡学会
16	顎関節疾患におけるX線透視診断	日本歯科放射線学会
17	歯科用3次元X線画像撮影技術	日本歯科放射線学会
18	通院・在宅精神療法の小児加算	日本児童青年精神医学会
19	浮遊耳石置換法	日本耳鼻咽喉科学会
20	ティルト(head-up tilt)試験 ヘッドアップティルト(head-up tilt)試験 ヘッドアップティルト試験	日本循環器学会 日本不整脈学会 日本自律神経学会 日本神経学会 日本神経治療学会
21	内視鏡検査の電子化画像管理加算	日本消化器内視鏡学会
22	鏡視下腫瘍試験切除術	日本小児外科学会
23	処置における小児加算の新設	日本小児外科学会
24	在宅患者皮膚欠損用創傷被覆材管理指導料	日本褥瘡学会
25	全身発汗定性試験	日本自律神経学会 日本神経学会 日本神経治療学会
26	経皮血中ガス分析装置加算	日本神経学会 日本神経治療学会
27	髄液タウ蛋白	日本神経学会
28	心臓血管再手術 人工弁再置換術	日本心臓血管外科学会 日本胸部外科学会
29	破裂性動脈硬化症に対する人工血管置換術	日本心臓血管外科学会
30	高照度光療法	日本睡眠学会
31	鏡視下自家骨軟骨移植術	日本整形外科学会

	技術名	申請団体
32	透視下骨折観血の手術	日本整形外科学会
33	多職種による精神科入院長期化予防・退院促進加算	日本精神科病院協会
34	精神科隔離治療管理料	日本精神科病院協会
35	重度精神障害者支援チーム加算	専門看護師協議会
36	造血細胞移植ドナーの安全管理料	日本造血細胞移植学会
37	迷走神経刺激装置植込術	日本てんかん学会
38	高感度CRP	日本動脈硬化学会
39	稗粒腫摘除	日本皮膚科学会
40	皮膚科学的検査診断料	日本皮膚科学会
41	病理診断管理加算	日本病理学会
42	液状化検体細胞診	日本婦人科腫瘍学会 日本病理学会 日本臨床細胞学会
43	呼吸性移動対策	日本放射線腫瘍学会
44	体内留置型マーカー併用放射線治療	日本放射線腫瘍学会
45	在宅療養安全体制加算	訪問看護財団
46	咀嚼機能検査	日本補綴歯科学会
47	チームアプローチによる術後疼痛管理	日本麻酔科学会
48	血小板洗浄術	日本輸血・細胞治療学会
49	リハビリテーションカンファレンス実施料	日本リハビリテーション医学会
50	リハビリテーション処方(指示)料 運動器リハビリテーション処方料	日本リハビリテーション医学会 日本運動器リハビリテーション学会
51	間歇的経管栄養法	日本リハビリテーション医学会 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会
52	義肢・装具処方、仮合せ、適合判断料	日本リハビリテーション医学会
53	爪甲穿刺	日本臨床整形外科学会

その他の既記載技術(案)

	技術名	申請団体
1	ポジトロン断層・コンピュータ断層複合撮影	日本医学放射線学会 日本核医学会
2	画像診断管理加算	日本医学放射線学会
3	運動器リハビリテーションの規定変更	日本運動器リハビリテーション学会
4	運動器リハビリテーション適応疾患の拡大	日本運動器リハビリテーション学会
5	体外衝撃波腎・尿管結石破砕術	日本Endourology・ESWL学会
6	核医学診断	日本核医学会
7	顎補綴印象	日本顎顔面補綴学会
8	顎補綴装着	日本顎顔面補綴学会
9	上顎骨形成術	日本顎変形症学会
10	コンタクトレンズ検査料	日本眼科学会
11	緑内障手術 2.流出路再建術	日本眼科医会
12	眼処置	日本眼科医会
13	在宅悪性腫瘍患者指導管理料	日本癌治療学会
14	厚生労働大臣が定める疾患,及び顎変形症に起因した咬合異常に対する歯科矯正治療	日本矯正歯科学会
15	ドナーリンパ球輸注	日本血液学会
16	血管移植またはバイパス手術 膝下、足部動脈	日本血管外科学会
17	睡眠時無呼吸症候群治療における口腔内装置治療の調整	日本口腔外科学会
18	上顎骨部分切離移動術(上顎骨形成術)	日本口腔外科学会
19	歯周治療用装置	日本歯周病学会
20	咬合調整	日本歯周病学会
21	内耳機能検査	日本耳鼻咽喉科学会
22	遊戯聴力検査	日本耳鼻咽喉科学会
23	カプセル型内視鏡検査	日本消化器内視鏡学会 日本消化管学会 日本消化器病学会
24	在宅成分栄養経管栄養法指導管理の栄養剤適応拡大	日本小児外科学会
25	在宅神経難病患者連携指導料	日本神経学会 日本神経治療学会
26	難病患者リハビリテーション料	日本神経学会 日本神経治療学会 日本リハビリテーション医学会
27	骨折非観血的整復術	日本整形外科学会
28	幼少児ギブス処置加算	日本整形外科学会
29	医療保護入院等診療料	日本精神科病院協会
30	通院集団精神療法	日本精神科病院協会
31	入院精神療法	日本精神科病院協会
32	精神科デイケア等	日本精神科病院協会

	技術名	申請団体
33	通院・在宅精神療法	日本精神科病院協会
34	入院集団精神療法	日本精神科病院協会
35	腱鞘内注入	日本手の外科学会
36	脳動脈瘤頸部クリッピング術(複数開頭)	日本脳神経外科学会
37	爪甲除去(麻酔を要しないもの)	日本皮膚科学会
38	皮膚科軟膏処置	日本皮膚科学会
39	精神科デイケア等	日本病院・地域精神医学会
40	テレパソロジーによる術中迅速病理組織標本作製	日本病理学会
41	病理組織標本作製	日本病理学会
42	急性胆嚢炎に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術	日本腹部救急医学会
43	透視下加算(X線透視下・CT下・エコー下 等)	日本ペインクリニック学会
44	外来放射線治療加算	日本放射線腫瘍学会
45	放射線治療専任加算	日本放射線腫瘍学会
46	点滴静脈注射を要する対象者への長時間訪問看護の評価 浣腸・排便を要する在宅療養者の長時間訪問看護の評価	訪問看護財団 在宅ケア学会
47	レジン前装鑄造冠(小臼歯部)	日本補綴歯科学会
48	帝王切開術に対する区域麻酔料金の全身麻酔並み引き上げ	日本麻酔科学会
49	妊娠継続希望妊婦の非産科手術の全身麻酔	日本麻酔科学会
50	調剤料(麻薬、向精神薬、覚せい剤原料又は毒薬加算の増点)	日本薬学会
51	抗シトルリン化ペプチド抗体精密測定検査	日本リウマチ学会
52	肝悪性腫瘍マイクロ波凝固法	日本臨床外科学会
53	イレウス用ロングチューブ挿入法	日本臨床外科学会
54	生化学的検査()又は()に係る多項目包括規定の見直し	日本臨床検査医学会
55	末梢血液像	日本臨床検査専門医会
56	脊椎麻酔	日本臨床整形外科学会
57	Qスイッチ付レーザー照射療法	日本レーザー医学会

評価対象外の技術(二次評価)
(薬事法上の承認が得られていない医薬品及び医療機器等を用いる技術等)

	技術名	申請団体
1	経皮的塞栓術・腎出血	日本IVR学会
2	経皮的塞栓術・鼻出血	日本IVR学会
3	経皮的塞栓術・腹部実質臓器・緊急止血	日本IVR学会
4	経皮的塞栓術・気管支動脈	日本IVR学会
5	経皮的塞栓術・骨盤部出血	日本IVR学会
6	経皮的塞栓術・産科出血	日本IVR学会
7	高次視機能検査	日本眼科学会
8	B型肝炎ウイルス遺伝子型(HBV genotype)検査 HBV genotype解析	日本肝臓学会 日本消化器病学会
9	HCV Genotypeの測定の承認	日本肝臓学会
10	形成外科内視鏡手術	日本形成外科学会
11	ステントグラフト内挿術(胸部大動脈)	日本外科学会
12	Abl遺伝子の変異同定	日本血液学会
13	HTLV-Iの単クローン性組み込み検査(末梢血・組織)	日本血液学会
14	胸水中ヒアルロン酸測定	日本呼吸器学会
15	コンバックス走査式超音波気管支鏡下針生検	日本呼吸器内視鏡学会
16	手術のK932創外固定器加算の注にK076観血的関節授動術を追加する	日本骨折治療学会
17	ムコ多糖体分画定量(尿中)	日本小児科学会
18	極長鎖脂肪酸分析(血中)	日本小児科学会
19	カルニチン分画定量(血中、尿中)	日本小児科学会
20	経皮的心房中隔欠損作成術(ラシュキンド法以外)	日本小児循環器学会
21	血清25水酸化ビタミンD測定	日本小児内分泌学会
22	DNAメチレーション試験	日本小児内分泌学会
23	サイトメガロウイルスのDNA-PCR(髄液)	日本神経学会
24	髄液NSE	日本神経学会
25	帯状疱疹ウイルスDNA-PCR(髄液)	日本神経学会
26	単純ヘルペスDNA-PCR(髄液)	日本神経学会
27	急性中毒の腸洗浄(全腸管)	日本中毒学会
28	ステント併用による脳動脈瘤塞栓術	日本脳神経血管内治療学会

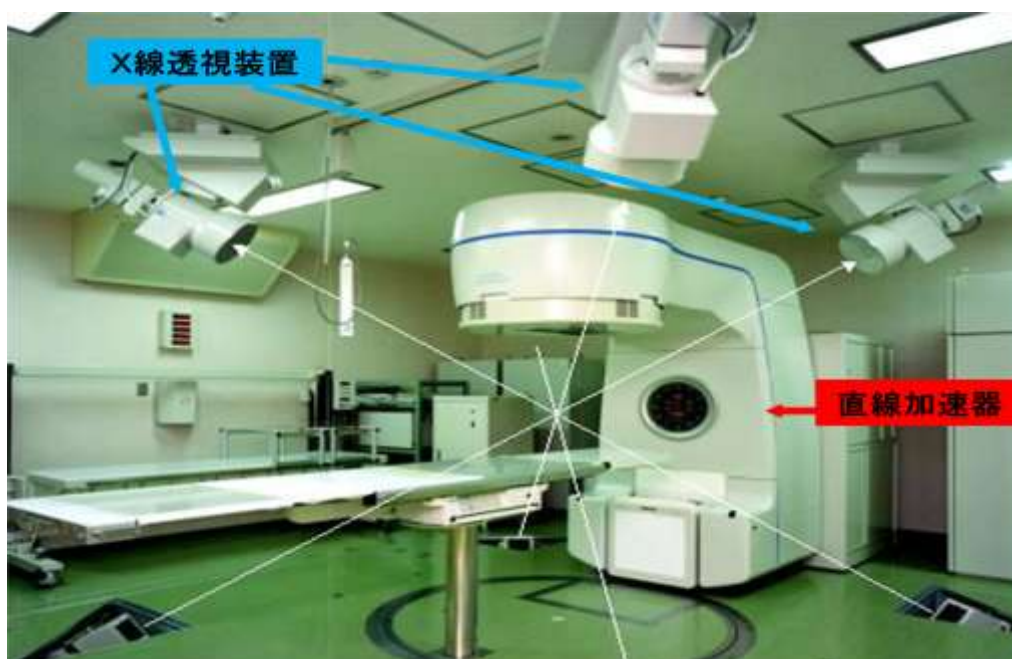
評価対象外の技術(二次評価)
(先進医療専門家会議において保険導入等について議論する技術)

	技術名	申請団体
1	終夜睡眠検査(多点感圧式シートセンサを使用した場合)	日本呼吸器学会
2	腹腔鏡下胃縮小術(腹腔鏡下sleeve状胃切除術)	日本内視鏡外科学会

1 画像誘導放射線治療（IGRT）（別紙1 59）

IGRT（Image Guided Radiation Therapy）は、患者が放射線照射を受ける際に、治療台上の患者位置を照合し、正確な放射線照射を可能とする技術である。

具体的には、放射線照射の直前や照射中に得られる患者の画像情報（X線画像等）を治療計画作成時の画像情報と照合することにより、これらの位置のずれを算出し、そのずれの補正を自動的に行い、放射線照射を行う。これにより、治療対象であるがん病変に対して、従来の方法よりも正確な放射線照射が可能となるとともに、病変周囲の正常組織に対しては、放射線による損傷を軽減することが可能となるものである。



2 特殊光を用いた画像強調観察を併用した拡大内視鏡検査（別紙 1 24）

拡大内視鏡とは、通常の内視鏡（5倍程度）に比べて高倍率（100倍程度）での拡大観察が可能な内視鏡である。従来の内視鏡検査では、がん及びポリープの診断にあたり、病理組織検査を実施する必要があったが、拡大内視鏡を用いて消化管表面を拡大し、詳細にその紋様を観察及び分類すること、また、特殊光を用いて画像強調観察を併用することにより、内視鏡検査の段階でより正確な診断を行うことが可能となる。また、同検査を行うことにより、通常の内視鏡では発見できないような微小な癌を発見できるようになり、不必要な生検を行う必要がなくなるなど、病変の早期発見及び低侵襲な内視鏡治療へつなげることができる。

早期食道癌症例



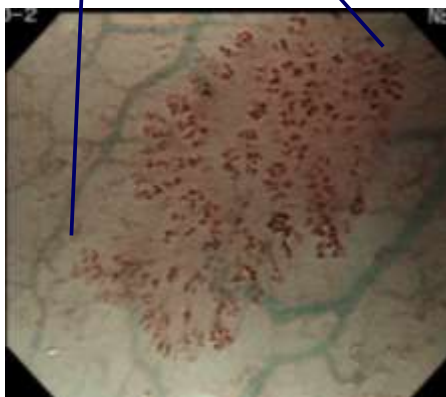
通常内視鏡

矢印の部位に存在する病変を認識できない。



拡大内視鏡 (非拡大)

矢印の部位に、茶色の病変を容易に認識できる。

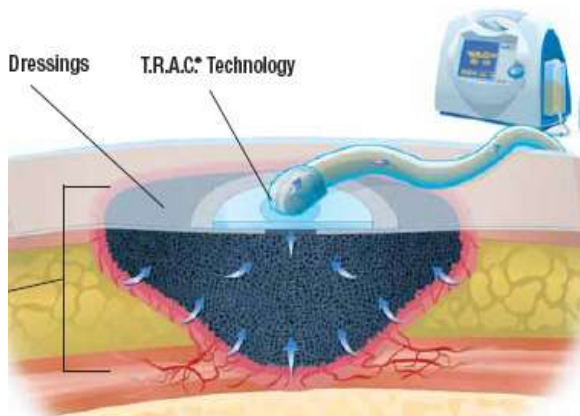


拡大内視鏡 (約80倍拡大)

茶色の病変を拡大内視鏡観察すると、異常血管を認識でき、内視鏡治療の可能な早期食道癌と診断できる。

3 局所陰圧閉鎖処置（別紙 1 13）

感染・壊死等があり容易に閉鎖が不可能な複雑性創傷の患者に対して、その創部にフォームを埋め込み、ドレープで密封した後に、チューブを介して陰圧維持装置と接続し、陰圧を持続的に維持する処置である。これにより、創傷治癒を促進することができる。



次期診療報酬改定に向けた医療技術の評価・再評価に係る 評価方法等について（案）

概要

次期診療報酬改定に向けた新規医療技術の評価及び既存技術の再評価を実施するにあたり、当分科会において評価方法等について検討する。

医療技術評価分科会においては、平成15年度より学会等に技術評価希望書の提出を求め、医療技術評価の参考にしてきたところであるが、平成20年度改定においては、臨床医を中心としたワーキンググループによる一次評価及び当分科会における二次評価を行い、中央社会医療協議会基本問題小委員会へ報告した。次期改定においても、平成20年度改定と同様に下記のとおり実施してはどうか。

1. 分科会における評価対象技術

分科会における評価対象技術は、原則、医科診療報酬点数表第2章特掲診療料第2部（在宅医療）から第13部（病理診断）、又は歯科診療報酬点数表第2章特掲診療料第2部（在宅医療）から第14部（病理診断）に該当する技術として評価されている又はされることが適当な医療技術とする。

2. 分科会において評価対象とする評価提案書

以下の学会から提出された評価提案書（別紙）について評価を実施する。

- 日本医学会分科会、内科系学会社会保険連合、外科系学会社会保険委員会連合、日本歯科医学会分科会（認定分科会含む）の何れかに属する学会、日本薬学会、並びに看護系学会等社会保険連合

3. 評価方法

評価は2段階で実施する。

- （1次評価）臨床医を中心としたワーキンググループを設置し、専門的観点から当該技術に係る評価を実施。技術評価分科会の委員はいずれかのワーキンググループに属する。ワーキンググループは原則非公開とする。
- （2次評価）1次評価結果において高く評価された一定数以上の技術を対象に、医療技術評価分科会全体会合において、より幅広い観点から評価を実施。

4. 評価結果の取り扱い

評価結果は中央社会保険医療協議会基本問題小委員会に報告する。

5. 実施スケジュール

平成21年3月上旬	提案書配布
6月19日	提出締め切り、重複・薬事法などの確認
7～9月	ワーキンググループによる評価
10月以降	1次評価終了、医療技術評価分科会にて2次評価 評価結果を中央社会保険医療協議会基本問題小委員会に 報告

医療技術評価提案書（保険未収載技術用）【概要版】

申請団体名

代表者名

提出年月日 平成 21 年 月 日

※ 概要版にはポイントのみを、本紙に既に記載されている様式を変更することなく、空欄を埋める形で記載し、1枚に収めること。欄外には記載しないこと。

※ 保険既収載の技術であっても、対象疾患の適用拡大等に係る評価である場合は、本用紙を用いること。

※ 技術そのものが新設であっても、すでに保険診療の中で認められているものについては、「保険既収載技術用」を用いること。

技術名	
技術の概要	
対象疾患名	
保険収載の必要性のポイント	
【評価項目】	
①有効性 ・ 治癒率・死亡率・QOLの改善等 ・ 学会のガイドライン等 ・ エビデンスレベルの明確化	エビデンスレベル: I II III IV V VI *エビデンスレベルについては別紙参照の上記載すること
②安全性 ・ 副作用等のリスクの内容と頻度	
③普及性 ・ 年間対象患者数 ・ 年間実施回数等	年間対象患者数 人 年間実施回数 (1人当たり) 回
④技術の成熟度 ・ 学会等における位置づけ ・ 難易度 (専門性・施設基準等)	
⑤倫理性・社会的妥当性 (問題点があれば記載)	
⑥妥当と思われる診療報酬の区分 (1つに○)	C在宅・D検査・E画像・F投薬・G注射・Hリハビリ・I精神・J処置・K手術・L麻酔・M放射線・N病理・その他
妥当と思われる点数及びその根拠 (新設の場合)	点数 点
⑦代替する保険既収載技術との比較	当該技術の導入より代替される既収載技術 無 ・ 有) (区分番号と技術名)
・ 効果 (安全性等を含む) の比較	
・ 費用の比較	
⑧予想される医療費への影響 (年間)	予想影響額 円 増・減 *増加と記載されたことにより技術への評価が変わるものではない
(影響額算出の根拠を記載する。) ・ 予想される当該技術に係る医療費 ・ 当該技術の保険収載に伴い減少が予想される医療費 (費用-効果分析などの経済評価を実施していれば記載可)	
⑨その他	

医療技術評価提案書（保険未収載技術用）【詳細版】

申請団体名

代表者名

提出年月日 平成21年 月 日

- ※ 概要版に記載した内容の背景、根拠、算術方式等について4枚を上限として記載する。
- ※ 本紙に既に記載されている様式を変更することなく、空欄を埋める形で記載すること。欄外には記載しないこと。
- ※ 必要があれば、海外のデータを用いることも可能。

技術名	
技術の概要	
対象疾患名	
保険収載の必要性のポイント	
【評価項目】	
①有効性 ・ 治癒率・死亡率・QOLの改善等 ・ 学会のガイドライン等 ・ エビデンスレベルの明確化	エビデンスレベル： I II III IV V VI *エビデンスレベルについては別紙参照の上記載すること
②安全性 ・ 副作用等のリスクの内容と頻度	
③普及性 ・ 年間対象患者数 ・ 年間実施回数等	年間対象患者数 人 年間実施回数 回
④技術の成熟度 ・ 学会等における位置づけ ・ 難易度（専門性・施設基準等）	
⑤倫理性・社会的妥当性 (問題点があれば記載)	
⑥妥当と思われる診療報酬の区分 (1つに〇)	C在宅・D検査・E画像・F投薬・G注射・Hリハビリ・I精神・J処置・K手術・L麻酔・M放射線・N病理・その他
妥当と思われる点数及びその根拠 (新設の場合)	点数 点
⑦代替する保険既収載技術との比較 (当該技術の導入により代替することが予想される既収載技術)	当該技術の導入より代替される既収載技術 無 ・ 有 (区分番号と技術名)
・ 効果(安全性等を含む)の比較	
・ 費用の比較	

<p>⑧予想される医療費への影響（年間）</p>	<p>予想影響額 円 増・減 *増加と記載されたことにより技術への評価が変わるものではない</p>
<p>（影響額算出の根拠を記載する。） ・予想される当該技術に係る医療費 ・当該技術の保険収載に伴い減少が予想される医療費 （費用－効果分析などの経済評価を実施していれば記載可）</p>	
<p>⑨当該技術の海外における公的医療保険（医療保障）への収載状況</p>	
<p>⑩当該技術の先進医療としての取扱い</p>	<p>当該技術は先進医療として a. 承認を受けている b. 届出されたが承認されなかった c. 届出中 d. 届出はしていない e. 把握していない</p>
<p>その他</p>	
<p>関係学会、代表的研究者等</p>	
<p>担当者、連絡先（住所、電話番号、ファックス番号、E-MAIL）</p>	

⑪ 当該技術に医薬品を用いる場合、その主なものの内容を記載

* 薬事法内容等不明な場合は添付文書を読むか、製造販売会社等に問い合わせること。

名称（販売名、一般名）	薬事法の承認の有無	薬事法の「使用目的、効能又は効果」	薬価収載（保険収載）の有無
	有・無 （承認番号 ）		有・無
	有・無 （承認番号 ）		有・無
	有・無 （承認番号 ）		有・無
	有・無 （承認番号 ）		有・無

⑫ 当該技術に医療機器を用いる場合、その主なものの内容を記載

* 薬事法内容等不明な場合は添付文書を読むか、製造販売会社等に問い合わせること。

名称（販売名、一般名）	薬事法の承認の有無	薬事法の「使用目的、効能又は効果」	保険収載の有無	特定保険医療材料
	有・無 （承認番号 ）		有・無	該当・非該当 ↓ 番号： 名称： 価格：
	有・無 （承認番号 ）		有・無	該当・非該当 ↓ 番号： 名称： 価格：
	有・無 （承認番号 ）		有・無	該当・非該当 ↓ 番号： 名称： 価格：
	有・無 （承認番号 ）		有・無	該当・非該当 ↓ 番号： 名称： 価格：

医療技術再評価提案書（保険既収載技術用）

申請団体名

代表者名

提出年月日 平成21年 月 日

- ※ 本紙に既に記載されている様式を変更することなく、空欄を埋める形で記載し、1枚に納めること。欄外には記載しないこと。
- ※ 技術そのものが新設であっても、すでに保険診療の中で認められているものについては、本用紙を用いること。
- ※ 必要があれば海外のデータを用いることも可。

技術名	
診療報酬区分（1つに○）	C在宅・D検査・E画像・F投薬・G注射・Hリハビリ・I精神・J処置・K手術・L麻酔・M放射線・N病理・その他
診療報酬番号	
技術の概要	
再評価区分	1. 算定要件の見直し（施設基準、回数制限等） 2. 点数の見直し（増点） 3. 点数の見直し（減点） 4. 保険収載の廃止 5. その他（ ）
具体的な内容	
【評価項目】	
①再評価の理由	
②普及性の変化 ・年間対象患者数の変化 ・年間実施回数の変化等	年間対象患者数の変化 現在 人→ 人 増・減・変化無し 年間実施回数の変化 現在 人→ 人 増・減・変化無し
③予想される医療費へ影響（年間）	予想影響額 円 増・減
(影響額算出の根拠を記載する。) ・予想される当該技術の医療費 ・当該技術の保険収載に伴い減少すると予想される医療費	
④算定要件の見直し等によって、新たに使用される医薬品医療機器（未採用技術の例にならって記載）	
その他	
関係学会、代表的研究者等	
担当者 連絡先（住所、電話番号、ファックス番号、E-MAIL）	

保険未収載技術 一次評価 評価票

番号：
評価対象技術：
評価者：
評価結果

評価項目	評価結果	コメント	事務局記載欄
1. 技術の有効性・成熟度（含むデータの質・信頼度）について	1 2 3 4 5 (低  高)		
2. 安全性・倫理性・社会的妥当性の観点から見た、保険収載の適切性について	問題あり 問題なし		
3. 普及性に係るデータ等の妥当性について	低 中 高		
4. 実施施設の限定について	1. 先進医療とすべき 2. 施設基準を設けるべき 3. 必要なし		

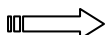
(評価上の留意事項)

- ・「1. 技術の有効性・成熟度について」は、提案書①有効性及び④技術の成熟度に記載された内容を、エビデンスレベル等のデータの質・信頼度も含め総合的に評価し、該当点数を○で囲むこと。
- ・「2. 安全性・倫理性・社会的妥当性の観点から見た、保険収載の適切性について」は、提案書②安全性及び⑤倫理性・社会的妥当性に記載された事項を評価し、保険収載の適切性について問題あり・なしを判断すること。
- ・「3. 普及性に係るデータの妥当性について」は、提案書③普及性に記載された内容等について、臨床的観点からその妥当性を3段階（低、中、高）で評価し、該当項目を○で囲むこと。
- ・「4. 実施施設の限定について」は、提案書④技術の成熟度等を踏まえ、当該技術は保険収載に至るにはまだ十分普及していないため先進医療としての取扱いが妥当である、又は保険収載するにあたり施設基準等を用いた実施施設の限定が必要である、と判断した場合は、それぞれ1. 又は2.（それ以外は3.）を○で囲むこと。
- ・必要に応じて「コメント」欄にコメントを記載すること。

なお、「事務局記載欄」は、事務局が提案書記載内容の確認を行った際等に気づいた点について記載するものであり、評価に際しては参考として用いること。

保険未収載技術 二次評価 評価票

番号：
 評価対象技術：
 評価者：
 評価結果

評価項目	評価結果	コメント	事務局記載欄
1. 当該技術の保険収載に係る必要性・妥当性について	1 2 3 4 5 (低  高)		
2. 実施施設の限定について	1. 先進医療とすべき 2. 施設基準を設けるべき 3. 必要なし		

(評価上の留意事項)

- ・「1. 当該技術の保険収載の必要性・妥当性について」は、一次評価の結果及び提案書に記載された内容を総合的に評価し、該当点数を○で囲むこと。
- ・特に、提案書⑥予想される医療費への影響については、影響額の多寡のみだけでなく、当該技術が保険収載されることにより国民の健康、保険財政等へもたらす影響を総合的に勘案し、評価を実施すること。
- ・「2. 実施施設の限定について」は、一次評価結果、提案書③普及性、④技術の成熟度、⑤倫理性・社会的妥当性及び⑥予想される医療費への影響等を踏まえ、当該技術は先進医療としての取扱いが妥当である、又は保険収載するにあたり施設基準等を用いた実施施設の限定が必要である、と判断した場合は、それぞれ1. 又は2. (それ以外は3.) を○で囲むこと。
- ・必要に応じて「コメント」欄にコメントを記載すること。

なお、「事務局記載欄」は、事務局が提案書記載内容の確認を行った際等に気づいた点について記載するものであり、評価に際しては参考として用いること。

保険既収載技術 一次評価 評価票

番号：
 評価対象技術：
 評価者：
 評価結果

評価項目	評価結果	コメント	事務局記載欄
1. 再評価の必要性・妥当性について	1 2 3 4 5 (低  高)		
2. 普及性に係るデータの妥当性について	低 中 高		

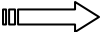
(評価上の留意事項)

- ・「1. 再評価の必要性・妥当性について」は、提案書①再評価の理由を、データの質・信頼度も含め総合的に評価し、該当点数を○で囲むこと。
- ・「2. 普及性に係るデータの妥当性について」は、提案書②普及性の変化に記載された内容等について、臨床的観点からその妥当性を3段階（低、中、高）で評価し、該当項目を○で囲むこと。
- ・必要に応じて「コメント」欄にコメントを記載すること。

なお、「事務局記載欄」は、事務局が提案書記載内容の確認を行った際等に気づいた点について記載するものであり、評価に際しては参考として用いること。

保険既収載技術 二次評価 評価票

番号：
 評価対象技術：
 評価者：
 評価結果

評価項目	評価結果	コメント	事務局記載欄
1. 再評価の必要性・ 妥当性について	1 2 3 4 5 (低  高)		

(評価上の留意事項)

- ・「1. 再評価の必要性・妥当性について」は、一次評価の結果及び提案書に記載された内容を総合的に評価し、該当点数を○で囲むこと。
- ・特に、提案書⑥予想される医療費への影響については、影響額の多寡のみだけでなく、当該技術が再評価されることにより国民の健康、保険財政等へもたらす影響を総合的に勘案し、評価を実施すること。
- ・必要に応じて「コメント」欄にコメントを記載すること。

なお、「事務局記載欄」は、事務局が提案書記載内容の確認を行った際等に気づいた点について記載するものであり、評価に際しては参考として用いること。